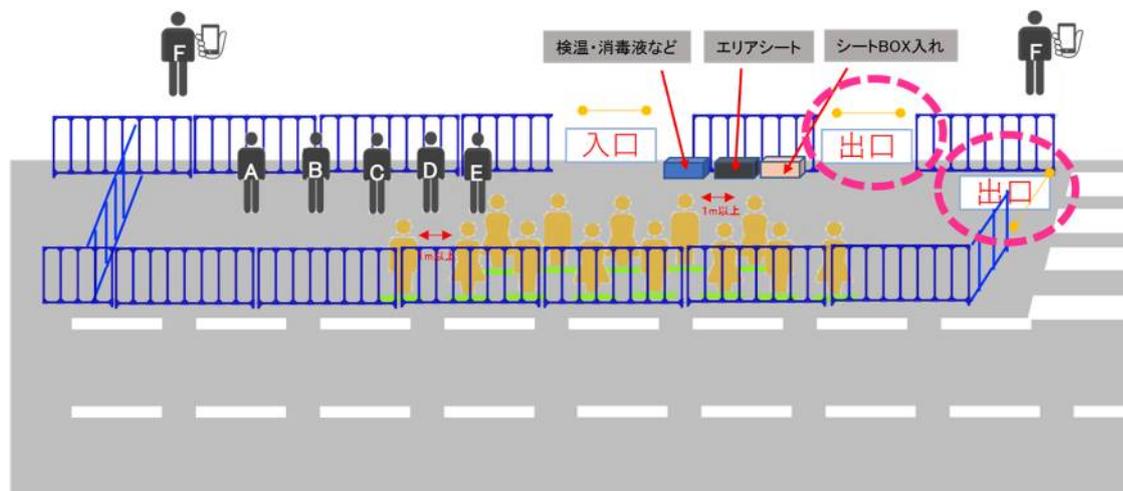


観覧エリアについて

歩道側1車線に観覧エリアを設置し、ディスタンスシートで観覧者同士の間隔を確保します。
観覧者の方々向けに、立ち位置の例を図示します。

【観覧エリアにおける感染対策】

- ◇歩道側1車線に約50～130m間隔でフェンスで仕切ることにより、観覧エリアを設置します。
(18区画程度。1区画あたり30人～130人程度観覧可能。)
- ◇観覧エリアには、係員を配置し、観覧者が入場する際には、検温を行い、消毒液の利用を促し、入場チケット及びディスタンスシートをお渡しした上で、入場していただきます。



【観覧エリア入退場の流れ】

- 1 検温後、消毒を促し、エリアごとの入場チケットを配布します。
- 2 入場チケットを係員が専用端末で読み込みます。
- 3 係員が1㎡のディスタンスシートを配布します。
- 4 観覧エリア内では、ディスタンスシートの上に乗って、ご観覧ください。
- 5 退場時に、ディスタンスシートを係員が回収します。
※入場チケットは回収しません。
※退場後に、同じ観覧エリアへ入場する際は、新たな入場チケットを配布します。

【ディスタンスシートイメージ】

